

陣ヶ下溪谷の紅葉と帷子川散策

日時:2021年12月11日(土) 天候:晴れ 16000歩 約11km

集合:相鉄線上星川駅 10時

コース:上星川駅→陣ヶ下溪谷公園→川島町公園→田原橋公園→白根公園→帷子川親水緑道→相鉄線鶴ヶ峰駅

参加者:L=熊坂 SL=畠・脇坂 班長=鈴木宏・新井・高橋吉・川合

勅使河原 平嶋 平石 大平 高橋文 小野里 青松 熊島 齊藤優 平野 小林 山内 井内 伊藤美 小島
高山 平林 滝川 吉岡 内海 原田 及川 福田 山口 望月 内田 渡邊 越後 計35名

このところ曇天が多く青空が恋しくなるなか、この日は朝から雲一つない晴天で絶好のウォーキング日和、それもあってか例会並みの35名の参加者となりました。今回歩く帷子川の陣ヶ下溪谷公園は、横浜市にありながらも秘境と言われるように、大自然が残っている場所でもあり、園内にはクヌギやミズキなどが茂り、昼でも鬱蒼とした森が広がっています。溪流への降り口は落ち葉で滑りやすく、100m程の下りの急坂をお互いに声を掛け合いながら慎重に下ることに。対岸には飛び石伝いに渡る場所もあり、リーダーが手を取って補助する場面も見られました。白根神社から白糸の滝に向かう小川沿いには、紅葉が過ぎ去った秋に名残を惜しむように、陽に照らされて輝いていました。帷子川親水緑道は旧帷子川の河川跡で、途中には“恐怖”の吊り橋があり、苦手な身にはつい身構えましたが殆ど揺れず逆に楽しめました！そう言えばこの帷子川、陣ヶ下溪谷も含めて以前歩いたことがありました。近頃記憶が薄れ気味ですが、思い出せたのもう暫くは大丈夫そうです！

<フォトレポート 小島>



<陣ヶ下溪谷の紅葉は今一つだったが、白糸の滝付近の燃えるような紅葉が陽に輝いていた>



上星川駅改札前。熊坂L&畠SLがお出迎え。



下にはすでに脇坂SLと共に皆さんが集まっていた。



日陰でお稲荷さんも目覚めてない？



人間界は既に準備OK！



オオイタビ。実は食べられるのも・・・



陣ヶ下溪谷ひろば公園でストレッチ。



病み上がりとは思えない熊坂さん。



熊坂L・畠SL&脇坂SLの布陣。



陣ヶ下溪谷公園入口には我々を歓迎するように一本の紅葉が・・・



陣ヶ下公園の“名所”、環状2号線の橋脚の下を行く。



大木の幹をイメージしたツタも絡む見事な芸術品？



2号線に上がり、溪谷を見下しながら歩道を行く。



広場へ向かう上り急階段に息があがる。



こうして見ると、ランチタイム風もここでは小休憩。



地図を広げて、ここは何処・・・私はだぁ〜れ??





休憩を終えて足取りも軽く・・・



だがここからが本番、急な下りが。



道が狭いので身支度を整えて出発。



滑りやすい急坂が100mほど続く道。手摺を掴んで・・・



階段を下ればそこは溪流。飛び石伝いに対岸へ。



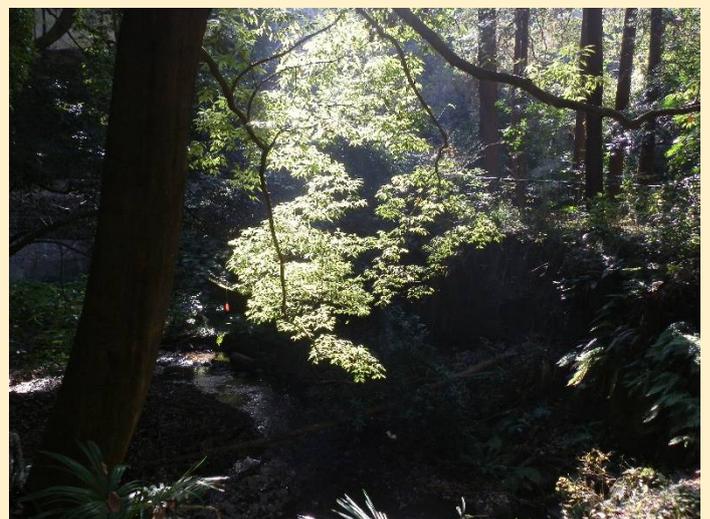
川の中に立って足の置き場を教えるリーダー。



手をとってもらおう勅使河原さん。気分は天国か？



次々に手助けする熊坂さん、これもリーダーの務め？



ここが横浜市内とは・・・鬱蒼とした溪谷美の陣ヶ下。



難所をクリアし地上に上がる。



ランチ場所まではもう少し。



学校橋を渡ればすぐそこ。



ランチ場所の逆田橋公園。この時期には日差しが暖かく、それぞれの場所でビタミンEも補給？



おや、女子会の中に“リンゴおじさん”が！



日差しを避けて・・・ここかなり密では？



真子さんも及ばない？ サザンカの絨毯の上で贅沢なランチタイム！



男性陣はいつもながら小さめな扱いで申し訳ありません！（場所が遠かったもので←言い訳）



十分エネルギーを補給し午後の部スタート。

今日は帷子川を何度も渡るルートとなった。



<集合写真は田原橋公園にて全員集合。池に架けられたウッドデッキ上に並んでもらいました>



逆さ富士ならぬ水面に映る“逆さ紅葉”の画！



園内にはこのように散策路が整備されている。



写真の時期は違うが、ウッドデッキ前はこのような風景で子供たちの遊び場にもなる。



紅葉と鴨と蓮のまとまりのない写真。(こんなアングルは×)



午後になると陽も傾いて・・・再び帷子川沿いに出た。



いつも孤独なアオサギ。KWCに入ったら？



こちらは“家路”に向かうカルガモ一家。



ここから白根神社に入る。



一帯は白根公園。残りの紅葉も。



白糸の滝。遠目が宜しいようで。



公園広場で小休止。皆さん座って日向ぼっこ？



旭区の“名所”のループ歩道橋を渡って向こう側へ。



白根地区センターを經由し帷子川親水緑道に入る。



ここは旧帷子川の跡を散策路として整備した場所。



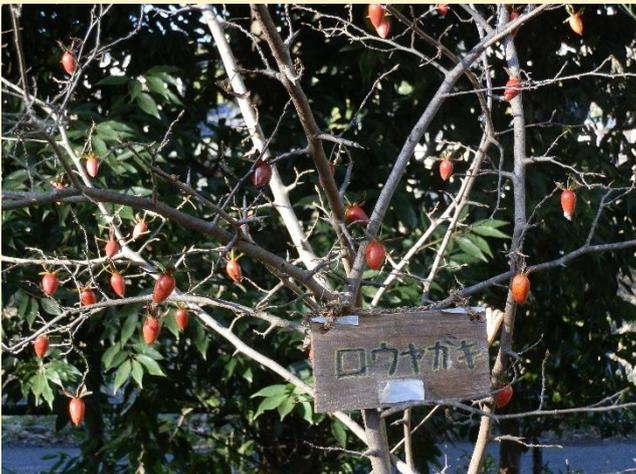
吊り橋が苦手な私が渡るのを対岸で待つリーダー...



だが犠牲になったのはこのお方。わざと揺らしたのは誰？



冬の寒さに向けて葉を落とす落葉樹たちを竹林が見守っているような散策路。



この「ロウヤガキ」。食用には向かない中国原産種。



暖かな日差しに眠りそう？ 滑り落ちないで...



最後は鶴ヶ峰公園でクールダウン、ここから駅まではあと僅か。皆さん今日一日お疲れ様でした。

<今日の一言>

スタートからゴールまで、青空と一緒のウォークとなりました。紅葉が心配されましたが、所々で名残り惜しそうな紅葉が我々を出迎えてくれ、皆さんもスマホ片手に写真を撮っていました。ご存じかも知れませんが、紅葉を綺麗に撮るコツは出来るだけ逆光となる角度で撮ること。こうすると透過する光で赤や黄の葉がより色味を増し、見た目通りの素敵な写真が撮れます。

初めての場所を歩きながら、目についた風景をカメラやスマホで撮るのもウォーキングの楽しみ方の一つですね。

END